

# 具体的施策について

## 鴨川流域懇談会 基本理念

### 安全・安心の鴨川をめざして

ハード・ソフト一体となった総合的治水対策を推進し、水害に強い地域社会の実現に向けた取り組みを推進

### 千年の都 京都の美しい鴨川をめざして

良好な水辺環境と沿川景観の保全・創出に努めるとともに、流域における健全な水循環の保全・再生の取り組みを推進

### より一層多くの人から親しまれる鴨川をめざして

鴨川固有の魅力を社会全体で共有し、より多くの人々から親しまれ、安らぎを与える川として育てていく

## 京都らしさ・鴨川らしさ

鴨川は人工河川であるが、三山の山並みを借景とした優れた景観と清流を持ち、歴史、伝統、文化の都である京都の街や生活と調和し、独特の風情や情緒のある心の落ち着く河川空間を有してきた。また一方で、京都は琵琶湖疎水や路面電車、近代建築などの受け入れやベンチャー企業・大学の街といわれるように、新しさや時代の先端を取り入れていく力強さを併せ持っている。



東山、北山への眺め



祝祭の場・みそぎの場(祇園祭 神輿洗い)



水がはぐくむ庭園文化(京都市HPより)



琵琶湖疎水 南禅寺水路閣(京都市HPより)

鴨川整備の各施策の実施にあたっては、これらの鴨川らしさを踏まえ、京都の洗練されたきめ細かさや気配りなどの知恵を活かし、府民の意見を取り入れながら計画、整備を進めるものとする。

---

## 具体的施策

～ 安心・安全の鴨川をめざして～

# 河川改修の着実な推進

整備計画で目標としている流量(1/30確率)を安全に流下させる断面を確保するため、桂川合流点から鳥羽大橋間の流下能力が低い区間等について、治水安全度の向上を図る。

## ●低水路拡幅(自然に配慮した整備)

桂川合流点付近から鳥羽大橋において、治水安全度を確保するための整備として低水路の拡幅を行い、併せて堤防の強化並びに龍門堰の改修を行う。低水護岸の整備にあたっては、「水とのふれあい回廊」として、自然に配慮した整備とする。

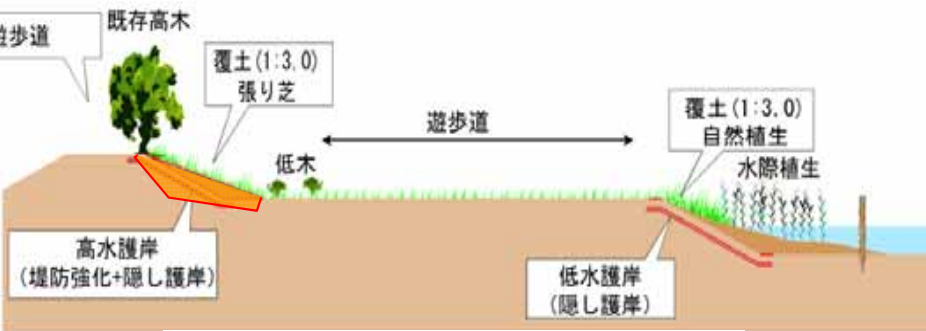
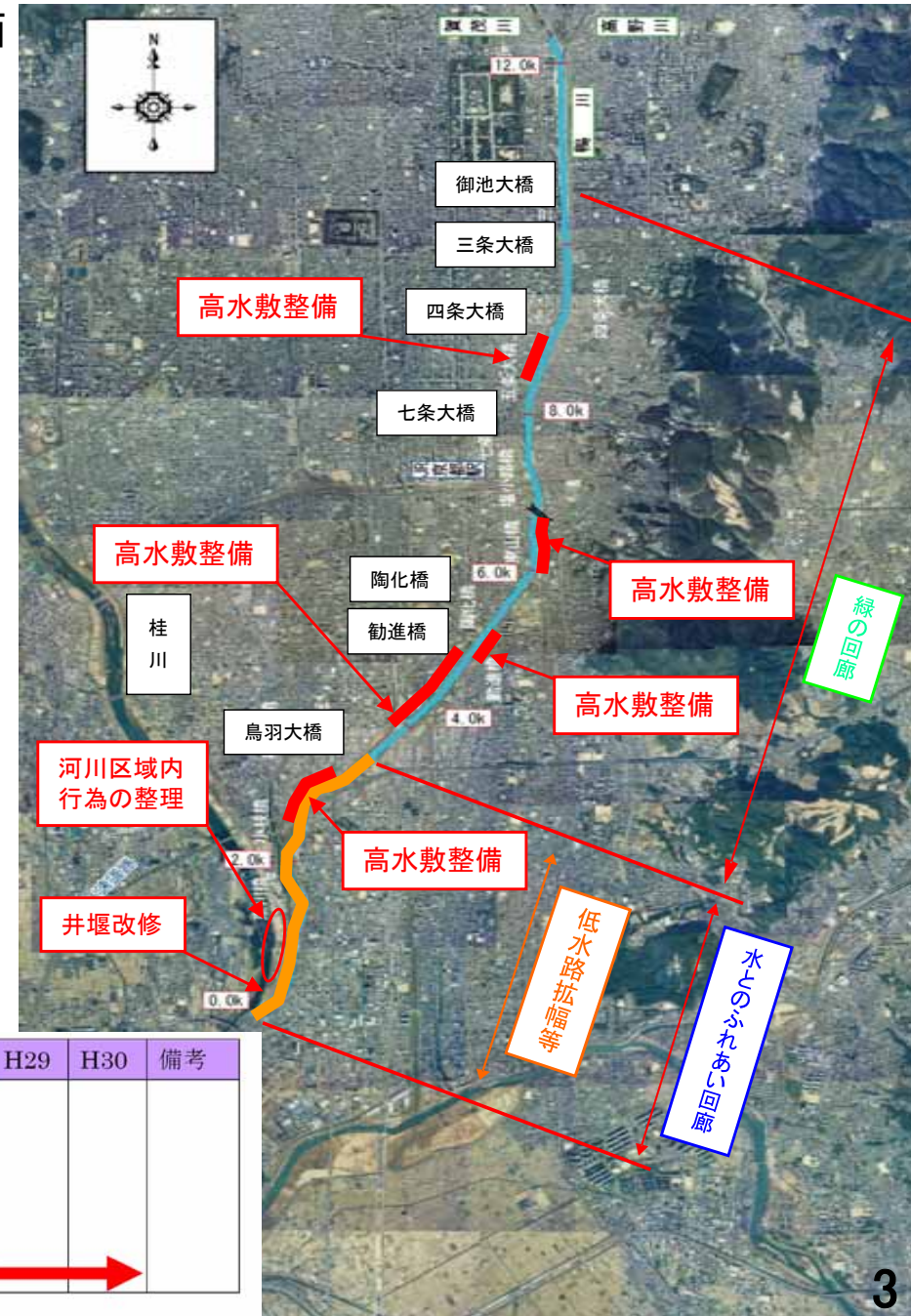
870m<sup>3</sup>/s、概ね1/5(現況) → 1,200m<sup>3</sup>/s、1/30(整備計画)

## ●河川区域内行為の整理

桂川合流点付近から鳥羽大橋において、河川区域内の耕作地等河川管理の支障となる行為を整理し、関係者との調整を進める。

## ●高水護岸整備

高水敷整備にあたっては、目標を持ちながらジョギングなどができるよう、距離標の設置に配慮するなど、快適な利用環境を創出する。



低水路拡幅及び堤防強化のイメージ

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
整備					

# 多発する集中豪雨への対応（速くて分かりやすい防災情報の提供）

## ◆河川情報板設置等による情報発信の多様化

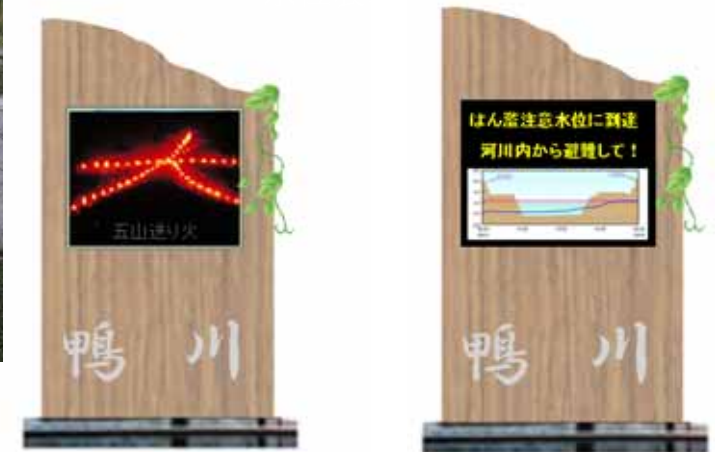
水位等の情報を追加、充実し、河川情報板による情報提供の充実を図る。

河川情報板については、河川敷や水辺の利用者等堤内向けの危険や避難に関する防災情報に加え、周辺地域の鴨川にゆかりのある社寺・名勝等をはじめ、文化や観光に関する各種情報の発信について検討を行う。さらに、速くて分かりやすい防災情報の提供を行うため、多様な情報発信方法等を検討する。



水位計の設置事例（長代川）

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
整備					



河川情報板のイメージ例

## ◆洪水予報システムの精度向上

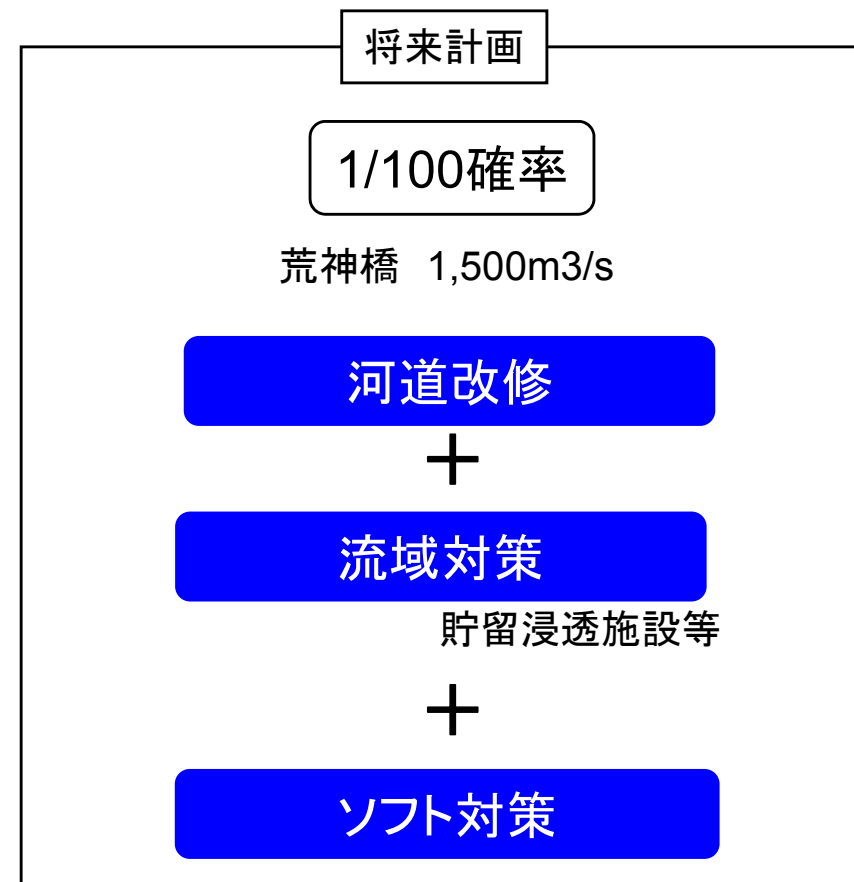
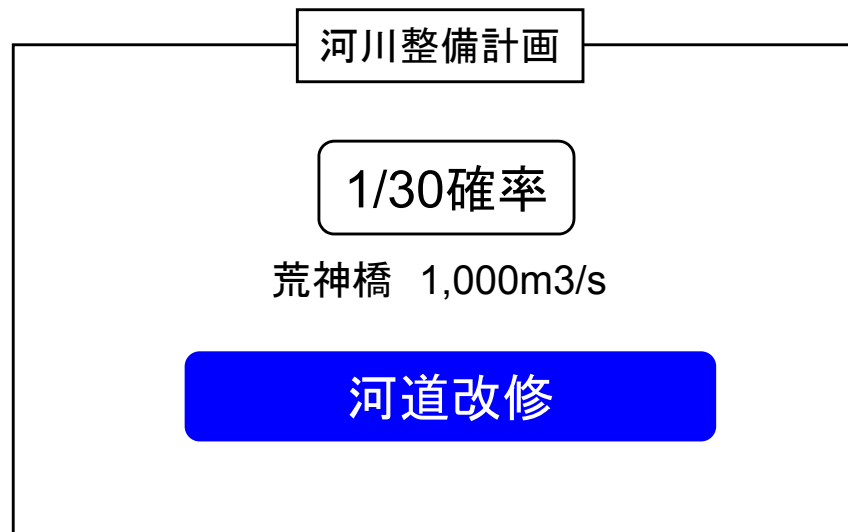
XバンドMPLレーダ(XRAIN)の雨量データは、面的な雨量の分布を定量的に捉えられるため、精度の高い流域平均雨量を捉えることができる。そこで、現行の雨量観測所のデータを用いた洪水予報システムにXRAINの雨量データを用いて、洪水予報システムの精度向上を図る。

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
整備					

# 経験のない大規模洪水への備え

流域の人口・資産等の集積、地下空間利用の拡大等の状況や近年の頻発する記録的豪雨や局地的な集中豪雨を考慮して治水安全度のさらなる向上が必要である。将来的に1/50、1/100に対応した計画の検討を実施する。

検討にあたっては、近年の降雨状況に加え、流域や河川の特性を十分に精査した上で、沿川の土地利用状況や多くの橋梁の存在等河川改修上の制約条件を踏まえつつ、段階的に実施することを含め、実現可能な方策について多面的に検討する。なお、治水対策の検討にあたっては、市街地など流域での取組みも含め、流域一体となった治水対策について検討する。



H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					

# 鴨川の適切な維持管理

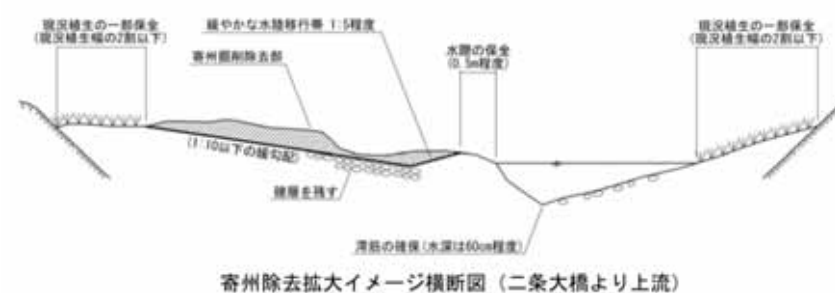
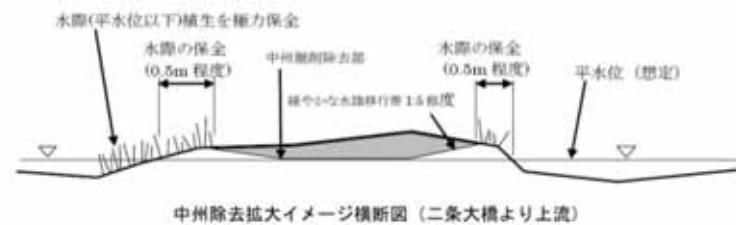
## ◆中州・寄州の管理

柘野堰堤から二条大橋の区間は、平成21年度から概ね10年程度のサイクルで河床整正を実施することとしており、延長で54%の進捗が図られている。

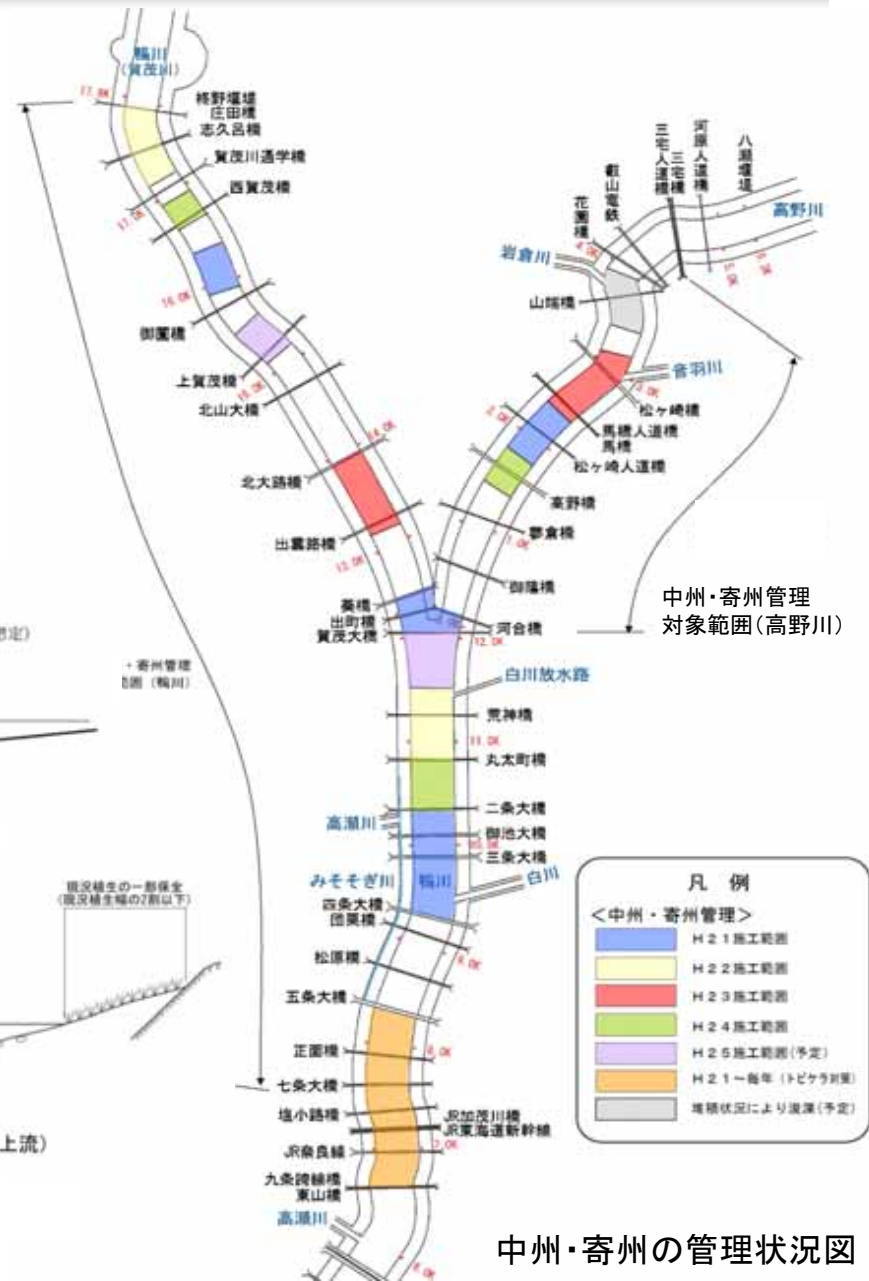
中洲の固定化を防ぎ、生態系・自然環境への影響も抑えた、河床整正手法を試行、検証しながら、柘野堰堤から二条大橋の残区間の河床整正を実施する。また、二条大橋から七条大橋の区間についても河積を確保するため、土砂堆積が認められ次第、随時河床整正を実施する。

水陸移行帯の創出、平成25年9月の台風18号で見られた深堀れによる護岸の損傷を防ぐため、寄州は完全に取り除くのではなく、一部を残すことを基本とする。

堆積状況や生態系、自然環境への影響については継続してモニタリングを実施し、その結果を踏まえ、河床整正を継続して実施する。



中州・寄州除去のイメージ横断面図



中州・寄州の管理状況図

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
実施					

# 鴨川の適切な維持管理

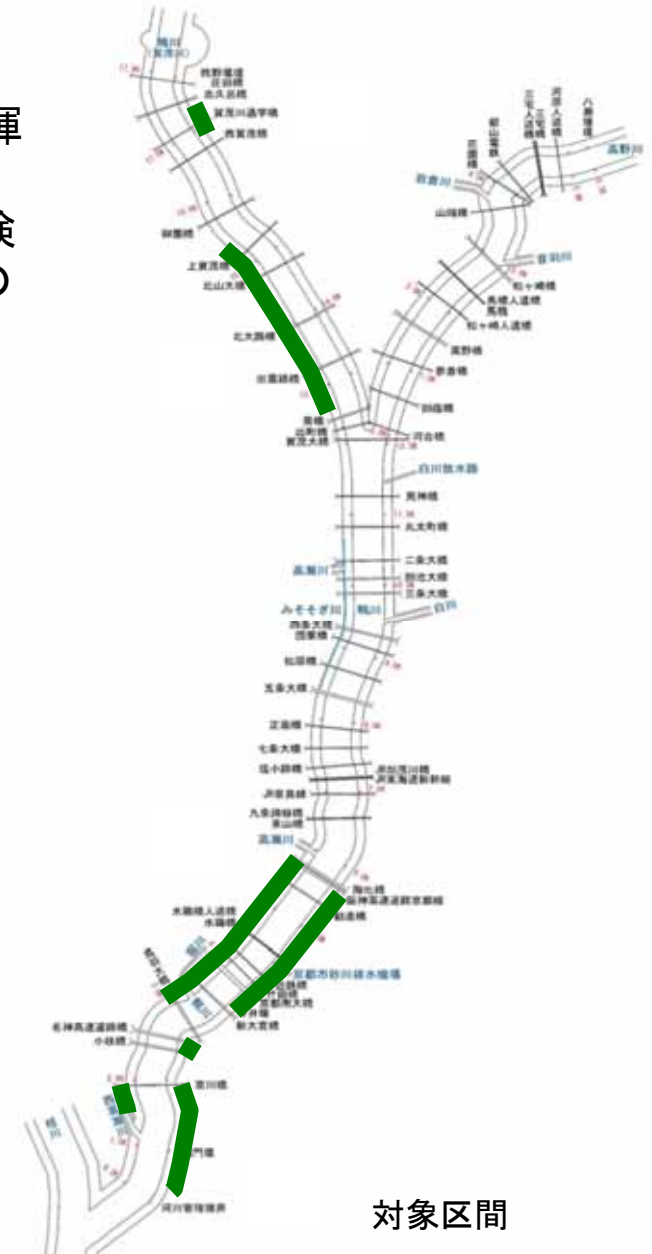
## ◆河川構造物の点検・修繕等

河川堤防、護岸、樋門等の河川管理施設が、本来有する機能を適正に発揮することができるよう、適切な維持・修繕を行う。

「京都府維持管理指針(案)平成21年4月」に則った維持管理を継続し、点検結果から、緊急性、重要度の高い修繕必要箇所を抽出し、順次、修繕計画の作成、修繕を進める。

区間	左右岸別	延長(m)
伏見区下鳥羽～深草	左	400
	右	1,600
伏見区深草～南区上鳥羽	左	2,150
	右	2,700
北区出雲路～柴竹	右	3,100
北区上賀茂	左	600

H26	H27	H28	H29	H30	備考
関係機関等調整					
→					
実施					
→					



---

## 具体的施策

～千年の都・京都の美しい鴨川をめざして～

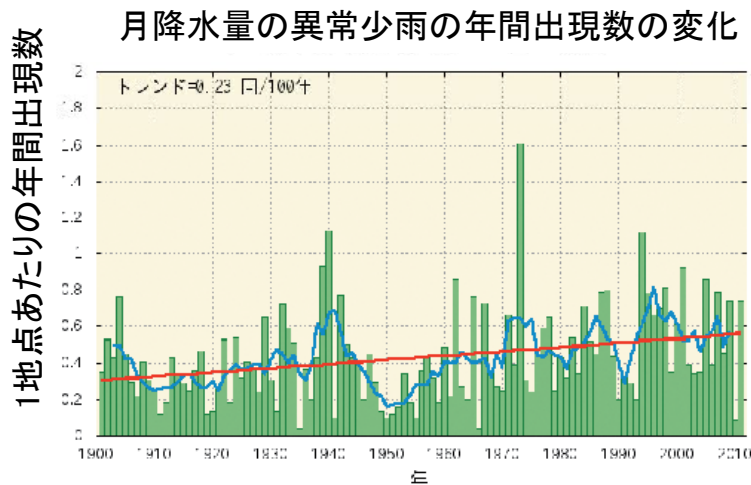


# 良好な水辺環境の保全

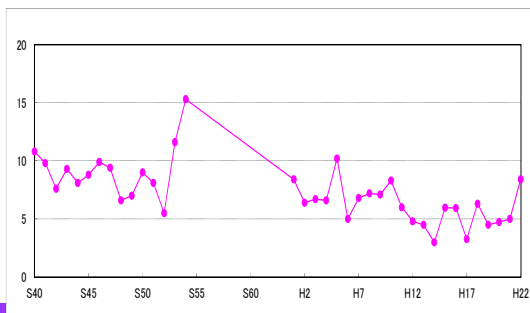
## ●流況の把握(水位、流量、水温、水質等)

流域における健全な水辺環境の保全・再生へ向けて、上流域をはじめ、流域の変化や気象の変化が鴨川の流況に与える影響を把握するため、鴨川の流量、水質、水温等の基礎データを取得できる観測態勢を確立する。また、流木、土砂移動についての調査、検討を行う。

水位計、流量計については、流域全体の水辺環境保全の観点から整備箇所を検討する。水温、水質の観測箇所については、京都市の設置している既存の水質観測所の位置とデータから、追加の必要な設置箇所について検討する。



(気象庁 気候変動監視レポート 2012より)



H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
整備					

# 歴史都市・京都にある鴨川の保全

## ●鴨川景観のあるべき姿の具体的検討等

二条大橋から五条大橋のみそそぎ川を有する区間は、鴨川の中でも利用者が多く最も人目を引く区間であり、広域的な鴨川の顔ともいえる場所である。建物等と鴨川が一体となった、歴史都市・京都にふさわしい風情を創出するため、鴨川景観のあるべき姿について検討を実施し、景観形成に資する取組みを実施する。

鴨川全体の望ましい景観形成の具体策を検討する。あわせて、当面の取組みとして、対象区間で、景観を損なっているエアコンの室外機への対策を実施する。

- ・鴨川全体の望ましい景観形成の具体策について、京都市と連携し検討を行う。
- ・鴨川条例、鴨川納涼床審査基準に係るガイドライン等の運用に基づいた鴨川の景観改善を引き続き推進する。また、鴨川景観対策懇話会における、有識者からの意見を反映する。
- ・室外機については、景観改善に向けて具体的な対策を検討し、取組みを進める。



独自に室外機対策が施工されている事例

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
整備					

## 河川区域内行為の整理

不法占用や不法耕作等の河川法違反行為、禁止区域内でのバーベキューや打ち上げ花火等の京都府鴨川条例違反行為については、今後も適正に対処していく。また、京都府鴨川条例の周知・啓発とともに、不適切な行為等への啓発を継続して行う。

### ●不法行為への対応

桂川合流点付近及び勧進橋上流左岸等の不法行為の対応をしていく。

京都府鴨川条例に関する巡視、指導は継続して行い、違反行為には適切な対応を行うとともに、イベントにおけるパネル展示やチラシ配布等の啓発活動を進める。

上流域については、鴨川の清流を守るため、引続き、条例に基づく鴨川環境保全区域において、定期的な巡視を実施する。また、他法令を所管する京都市等とも情報共有を図りながら、不法行為等に対して適切な指導を行うとともに、啓発活動を進める。

### ●河川敷利用者の不適切行為への対応

チラシ配布や看板設置等の啓発活動を、関係機関と協力しながら継続して行っていく。



松原橋左岸での不法占用の改善

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
	関係機関等調整				
整備					

---

## 具体的施策

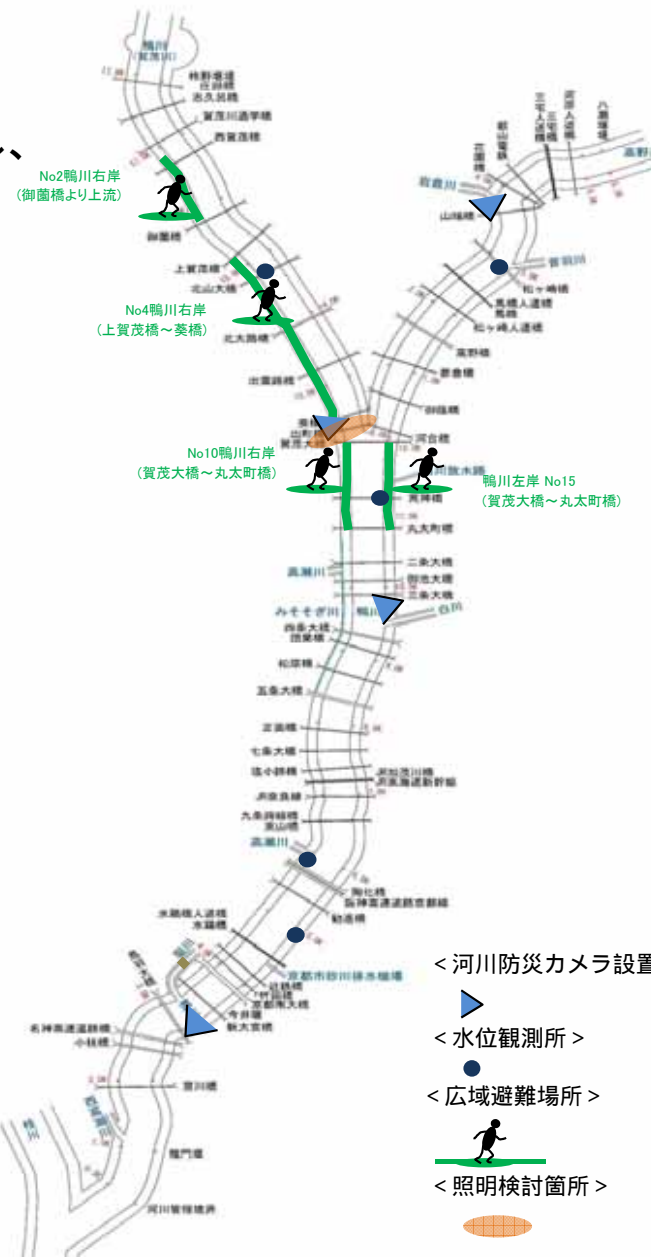
～より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして～

# 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

## ●黄昏時利用スポットの充実(照明設置、自然エネルギーの導入等)

夜間における洪水観測等の視認性の確保及び水防活動の安全を確保するとともに、広域避難所利用時の安全を確保するために設置する照明設備を活用し、黄昏時の利用時間の延長を図り“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間を創出する。

設置にあたっては、地域の住環境やホテル等の生物への影響を考慮して、季節や点灯時間等の方法を検討するとともに、照度や意匠についても京都らしい風情のある柔らかい雰囲気重視する。



CCTVの画像(夜間)



出町橋周辺

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
実施					



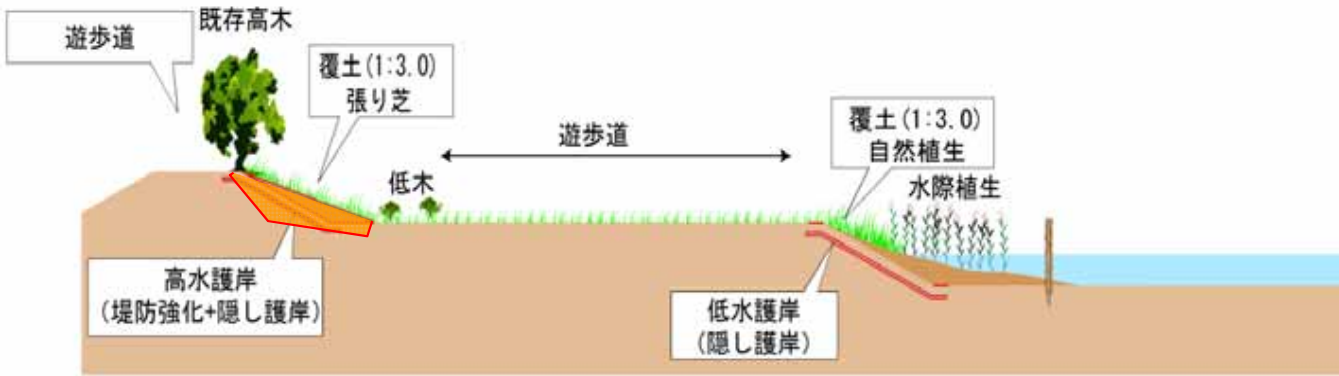
東山花灯路(京都・花灯路HP)

# 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

## ●川の自然体験スポットの創出

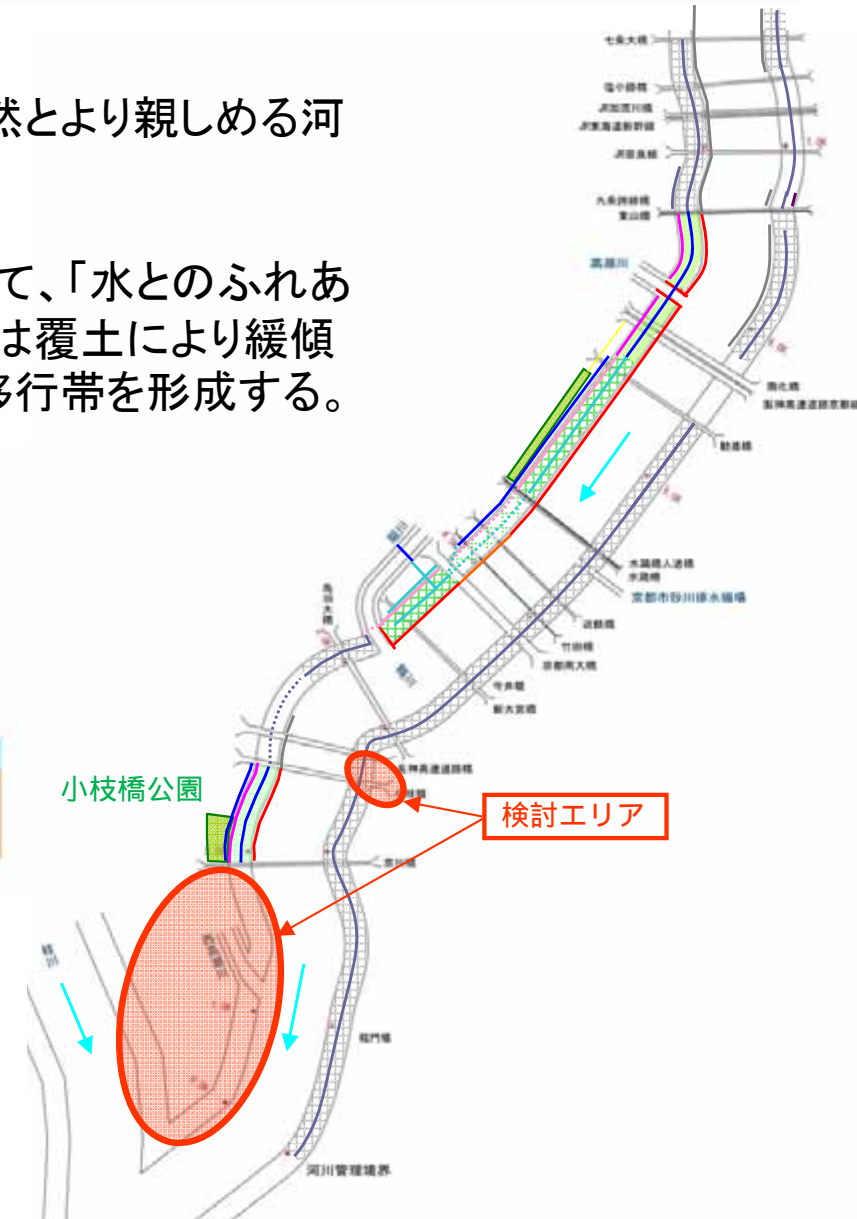
水際の植生創出と河川敷の整備を合わせて行うことで水辺の自然とより親しめる河川空間を創出する。

京川橋下流(右岸)及び名神高速道路～鳥羽大橋(左岸)において、「水とのふれあい回廊」として右岸側で親水空間となる拠点整備を進める。水際には覆土により緩傾斜での植生を創出することで、多様な生物の生息場所となる水陸移行帯を形成する。



整備イメージ横断面図

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
整備					



検討対象とする地区

# 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

## ●鴨川ギャラリー等の整備(文化発信)

鴨川の橋梁下を活用し、橋の周辺にまつわる歴史・文化を紹介することにより、鴨川の観光スポット化を進めるとともに、府民の憩いの場としての鴨川のポテンシャルを高めることを目的とする。

観光客の多い区間を中心に選定した、出雲路橋～五条大橋間で設置可能な8橋で鴨川ギャラリーを設置する。



二条大橋の設置事例

H26	H27	H28	H29	H30	備考
	関係機関等調整				
	整備				

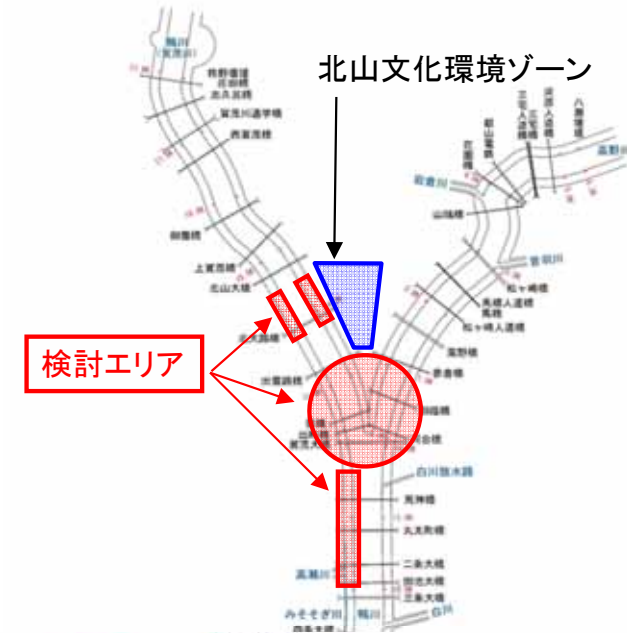


# 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

## ●植物園と連携した四季の彩りスポットの整備

府立植物園との協働等により季節感あふれる河川空間を創出し、鴨川の魅力向上を図る。

植物園内の展示とあわせて高水敷に四季それぞれの花を加えた、フラワースポットを整備することにより、鴨川の魅力向上を図る。  
北山文化環境ゾーンに近接する区間で、半木の道や高水敷緑地を活用する。



H26	H27	H28	H29	H30	備考
関係機関等調整					
→					
		→			
		→			



# 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

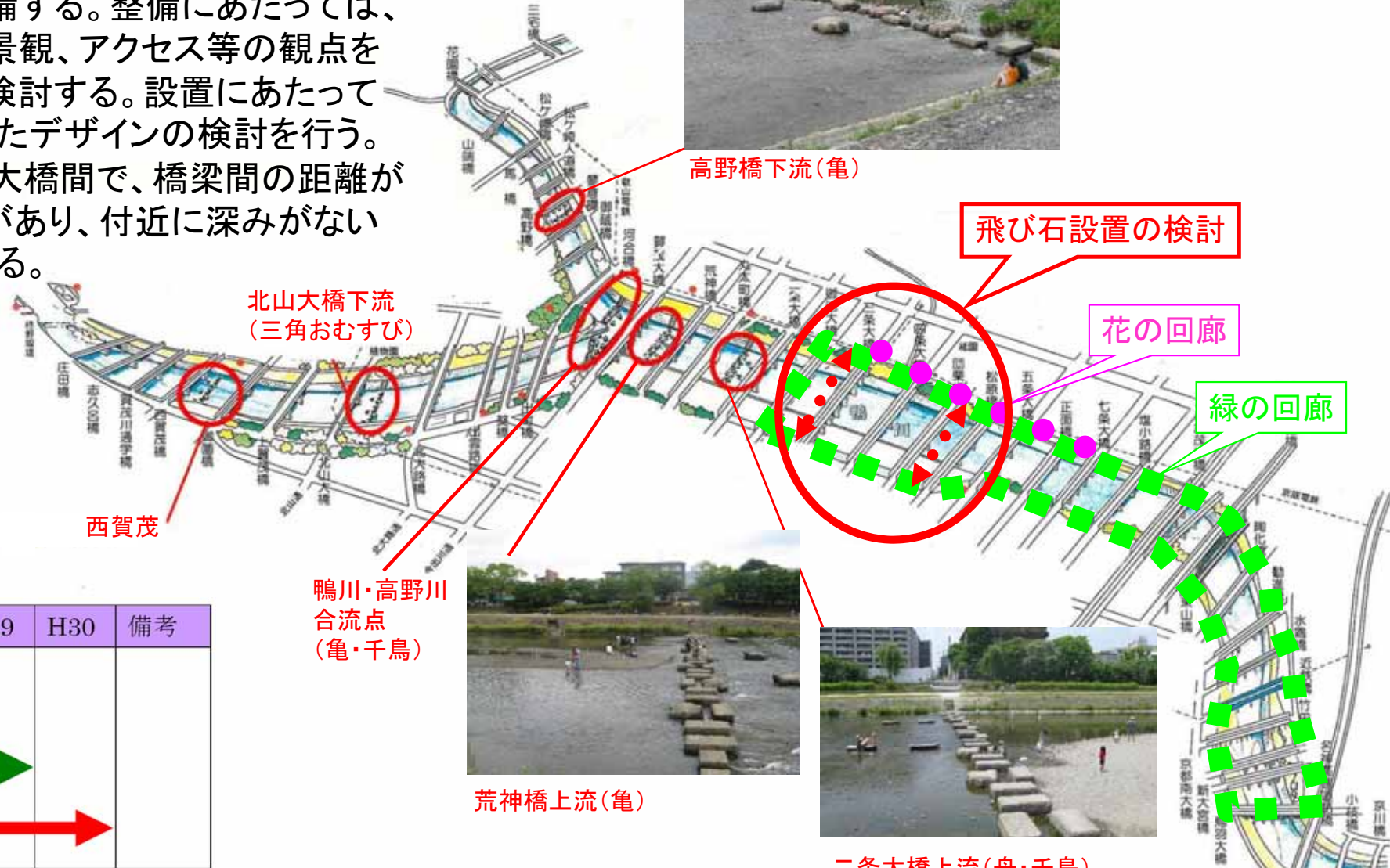
## ●飛び石による回廊ルートの強化

「花の回路」や「緑の回廊」との連続性を確保するため、飛び石を整備する。整備にあたっては、安全性、流下阻害、景観、アクセス等の観点を整理し、設置個所を検討する。設置にあたっては、鴨川をイメージしたデザインの検討を行う。

御池大橋から七条大橋間で、橋梁間の距離が長く、両岸に高水敷があり、付近に深みがない箇所において整備する。



高野橋下流(亀)



北山大橋下流  
(三角おむすび)

西賀茂

鴨川・高野川  
合流点  
(亀・千鳥)



荒神橋上流(亀)



二条大橋上流(舟・千鳥)

H26	H27	H28	H29	H30	備考
関係機関等調整					
	調査・検討				
		整備			

# 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

## ● 水辺環境の保全・再生(魚道設置、瀬・淵再生等)

鴨川には下流の龍門堰を含め、落差工等の横断工作物が多数存在し、魚類等の遡上の支障となっている。このため、魚道等の設置により、河川の縦断的な連続性を確保する。あわせて、水陸移行帯の創出など横断的な連続性にも配慮し魚類等の生息環境の改善を図る。

### 【具体的な検討・整備例】

- ・対象とする魚種、支障となる横断工作物についての調査、検討
- ・井堰の改修に合わせた魚道の設置等、縦断方向を改善する整備
- ・落差工への簡易な魚道の設置
- ・中洲除去とあわせた水辺の多様性の保全や創出

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
		整備			
		モニタリング			



龍門堰

# 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

## ●利用者の快適性の向上(ライトアップ、プロジェクションマッピング、ミストシャワー、オープンカフェ等)

### (1)光・映像による演出

高水敷の遊歩道等を使って、鴨川の夜間景観を光・映像により演出し、新たな魅力を創出する。鴨川や沿川の既存の資源を活用し、利用者間や観光者、世代間の交流の場となる河川空間を創出する。

### (2)居心地のよい河川空間の整備(オープンカフェ、ミストシャワー等)

河川利用者に京都の伝統や文化を発信していくための利便施設やアメニティ施設の導入についても検討を進める。イベント等において鴨川の魅力を引き出す企画を検討し、利用者に伝統や文化を発信する。



けやきのライトアップ(長野県上田市HPより)



賀茂大橋の照明



風鈴灯(京の七夕HPより)



広島市 京橋川のオープンカフェ



京(みやこ)の駅ミスト(京都市HPより)

H26	H27	H28	H29	H30	備考
調査・検討					
関係機関等調整					
実施					

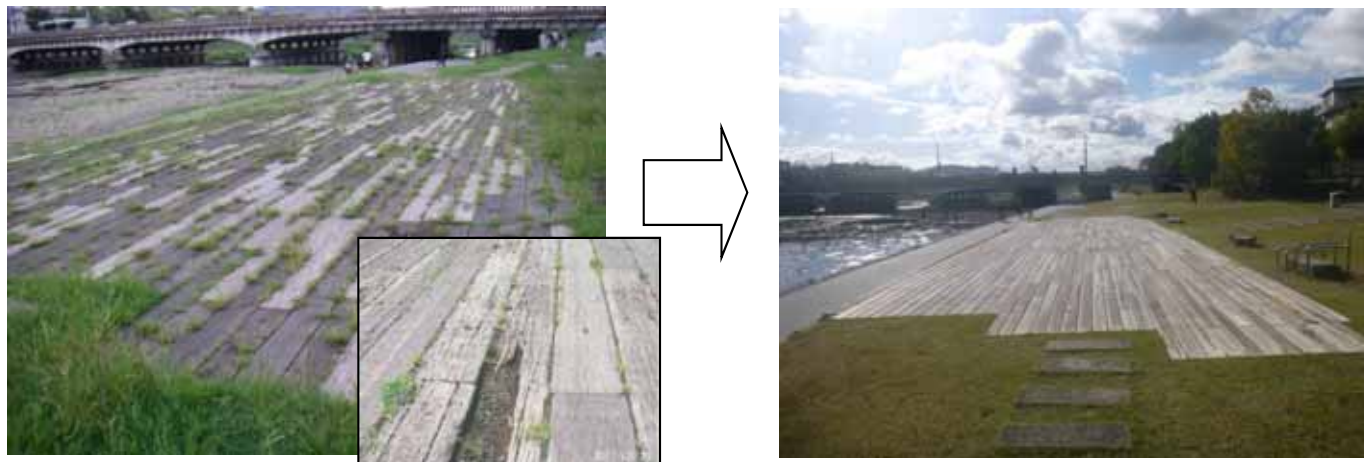
# 鴨川の持つ魅力“楽しみ、憩い、ふれあい”の空間創出

## ● 河川公共空間の適切な維持管理

現在の管理水準を維持し、河川や公園区域別で利用形態や自然に配慮した除草及び剪定等を継続する。また、老朽化の著しい施設は計画的に修繕・更新を行う。台風や出水等により、著しく損傷を受けた場合は、緊急的な補修、修繕を行う。



園路に係る枯枝の剪定



老朽化施設の更新(ウッドデッキ)

H26	H27	H28	H29	H30	備考
点検・調査・検討					
関係機関等調整					
修繕・更新・再整備					

# NPOや大学、地域との連携・協働

## ●鴨川探検等体験学習や環境教育の展開(次世代教育)

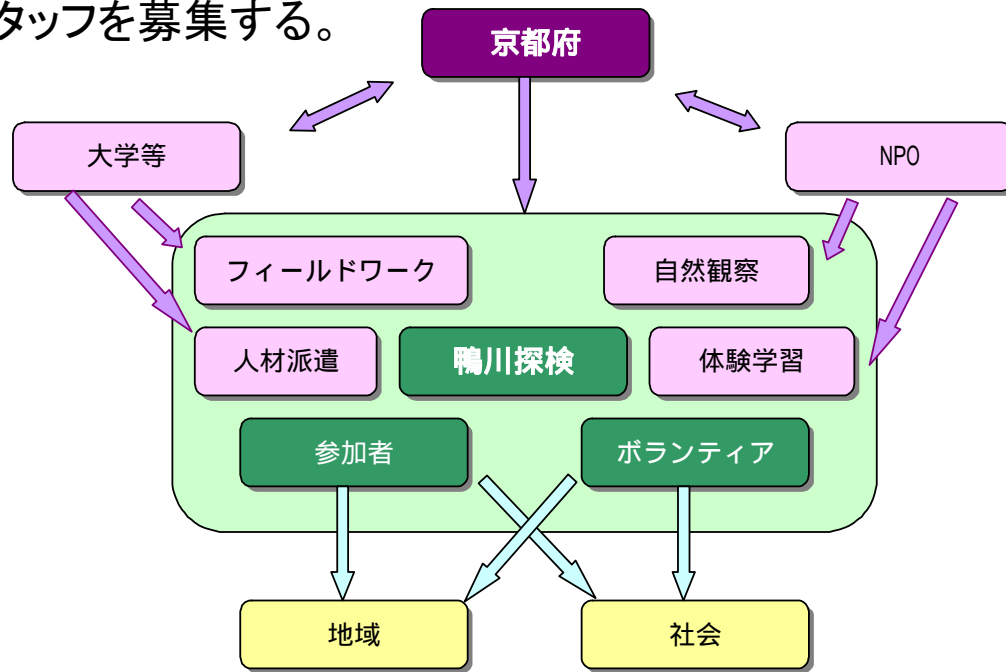
鴨川の魅力を改めて発見し、川への理解を深め、防災や河川愛護、自然環境保全への関心と主体的な取り組みの輪を広げてもらう。

今後は、鴨川探検を発展させて主体的な取り組みの輪を広げてもらう活動を推進するとともに、NPOや大学とも連携を図り、次世代教育の推進を図る。

自然環境を主体としたプログラムに防災、歴史等の内容を追加する。また、リーダー育成の観点から、引き続き、ボランティアスタッフを募集する。



平成25年 鴨川の生きもの観察&水質調査



H26	H27	H28	H29	H30	備考
実施・検討					年4回程度
関係機関等調整					
実施					